

令和5年（2023年）8月3日

附属幼稚園 創立120周年事業において 「附属幼稚園の大型遊具」更新の募金を開始

【本件のポイント】

- 山形大学附属幼稚園創立120周年を機会に、山形大学基金における募金窓口の「附属学校(園)支援基金」を利用して、寄付者の皆さまが附属幼稚園を指定し支援できるようにすることにより、本学の教育研究活動の充実に資するとともに、大学とステークホルダーとの関係性向上並びに寄付者の利便性の向上を図ります。

【概要】

現在本園の園庭東側に設置されております大型遊具ですが、創立100周年事業の一つとして設置され、これまで多くの子ども達が利用して参りました。園児にとっての遊びの環境は、遊びの質や広がりや左右する教材でもあります。ところが、この遊具は設置から20年が経過しようとしており、各部の老朽化が否めない状態となっております。耐用年数が過ぎていた部品も数多く、毎年修繕費用がかさみ、今後はさらに修繕箇所が増えていくことが予想されます。そこで、創立120周年の機会にこれらの保育設備を更新やその他環境整備を行い、園児の安心・安全とさらなる日々の遊びの充実を図りたいと考えております。



【山形大学基金「附属学校（園）への支援」】

寄付者が附属学校（園）を指定し支援できるようにすることにより、教育研究活動の充実に資するとともに、大学とステークホルダーとの関係性向上並びに寄付者の利便性の向上を図り、令和3年2月24日に山形大学基金の5番目の寄付目的として設置されました。

お問い合わせ

附属幼稚園長 伊藤 顕吾

TEL 023-641-4446

メール fuyo@fuyo.yamagata-u.ac.jp

「附属学校(園)支援基金」で附属幼稚園の大型遊具の更新を支援 ----- 附属幼稚園 創立120周年事業 -----

山形大学附属幼稚園創立120周年を機会に、山形大学基金の「附属学校(園)支援基金」で、子ども達が安全安心な環境の中で遊ぶことができるよう「大型遊具の更新」を考えております。

皆さまのご理解・ご支援をお願い申し上げます。

目標額を1,000万円としており、本学の建築・デザイン学科の学生や大学院生等によるオリジナルの遊具について発表願うコンペティションも計画し、山形大学附属幼稚園の園児たちにふさわしい遊具を設置したいと考えています。

山形大学附属幼稚園 創立120周年事業

大型遊具の更新・整備

園児にとっての遊びの環境は、遊びの質や広がり左右する教材



大型遊具の老朽化
(設置後20年が経過)

遊びが制限!

更新・整備により次のような効果が期待できる。

- ★子ども達が安心・安全な環境の中で遊ぶことができる。
- ★さらなる遊びの充実
- ★遊びの質がさらに高まる。



1 概要 山形大学附属幼稚園の園庭東側に設置されております大型遊具は、創立100周年事業の一つとして設置され、これまで多くの子ども達が利用して参りました。園児にとっての遊びの環境は、遊びの質や広がり左右する教材でもあります。ところが、この遊具は設置から20年が経過しようとしており、各部の老朽化が否めない状態となっております。耐用年数が過ぎていた部品も数多く、毎年修繕費用がかさみ、今後はさらに修繕箇所が増えていくことが予想されます。

そこで、本年の附属幼稚園創立120周年を機会に、これらの保育設備を更新やその他環境整備を行い、園児の安心・安全とさらなる日々の遊びの充実を図りたいと考えております。

2 寄付の内容 ①寄付者は、税法上の寄付金控除を受けることができます。
②寄付者は、(a)振込用紙による金融機関への振込 (b)Web サイトから寄付申込

システム（クレジットカード決済，インターネットバンキング決済，コンビニ決済を利用）を介して（c）給与・賞与引落とし等により，寄付することができます。

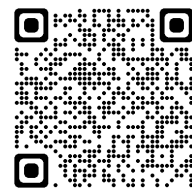
3 関係サイト

附属幼稚園創立 120 周年事業としての基金の Web サイトは [こちら](#)→



（山形大学基金「基金による事業」サイト）

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/project#con005>



（山形大学附属幼稚園）

<http://www.yamagata-u.ac.jp/you/>



（山形大学附属学校総合ページ）

<http://www.yamagata-u.ac.jp/fuzoku/>



【お問い合わせ先】

山形大学附属幼稚園長 伊藤 顕吾

TEL 023-641-4446

メール fuyo@fuyo.yamagata-u.ac.jp

山形大学附属幼稚園 創立120周年

保育設備更新と充実に向けた支援基金

趣 意 書

山形大学附属幼稚園の教育・研究につきまして、日頃よりご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。山形大学附属幼稚園は、令和5年度に創立120周年を迎えます。これまで附属幼稚園の維持・発展にご支援・ご協力いただきました関係各位に心から感謝申し上げます。

さて、現在本園の園庭東側に設置されております大型遊具ですが、創立100周年事業の一つとして設置され、これまで多くの子ども達が利用して参りました。園児にとっての遊びの環境は、遊びの質や広がり左右する教材でもあります。ところが、この遊具は設置から20年が経過しようとしており、各部の老朽化が否めない状態となっております。耐用年数が過ぎている部品も数多く、毎年修繕費用がかさみ、今後はさらに修繕箇所が増えていくことが予想されます。そこで、創立120周年の機会にこれらの保育設備を更新やその他環境整備を行い、園児の安心・安全とさらなる日々の遊びの充実を図りたいと考えております。

皆様方におかれましては、本趣旨にご賛同を賜り山形大学附属幼稚園における教育の一層の充実のため、格段のご支援を下さいますよう謹んでお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方のますますのご発展とご健勝を心より祈念いたします。

山形大学附属幼稚園支援基金事業委員会

委員長 三浦登志一（山形大学附属学校運営部長）

副委員長 伊藤 顕吾（山形大学附属幼稚園長）

渋谷 達郎（山形大学附属幼稚園PTA会長）

吉田 光伸（山形大学附属幼稚園学事奨励会会長）